

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウイングパーク	階数	地上4F
建設地	札幌市北区南あいの里5丁目1-4	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、18m高度地区	平均居住人員	120人
建物用途	集合住宅	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
竣工年	2018年2月 予定	評価の段階	基本設計段階評価
敷地面積	1,579 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2017年12月28日
建築面積	660 m <sup>2</sup>	作成者	
延床面積	2,609 m <sup>2</sup>	確認日	
		確認者	

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5

S ★★★★★ A ★★★★★ B+ ★★★★★ B ★★★★★ C ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>駐車場・駐輪場を全戸数分設置し、近隣への配慮をしています。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>二重サッシ、ペアガラス、断熱材の強化による熱損失係数の低減。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>乾式間仕切り、吹付けウレタン断熱の採用。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>札幌市緑の保全と創出に関する条例の適応した緑化の実施。</p>
	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>敷地内車路ロードヒーティング化により、敷地外へ雪を出さないよう配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE Sapporo2016v1.0  
ウイングパーク

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0  
■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.0)  
□ 項に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1	開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30			
2	界壁遮音性能				-	3.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20			
1.3 吸音										
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御										
1	室温			1.0	0.63	3.0	0.63			
2	外皮性能		省エネ	1.0	0.38	2.0	0.38			
3	ゾーン別制御性				-		-			
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用										
1	昼光率			3.0	0.60	3.0	0.50			
2	方位別開口				-	3.0	0.30			
3	昼光利用設備		省エネ	3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策										
1	昼光制御		省エネ	1.0	1.00	1.0	1.00			
2	映り込み対策				-		-			
3.3 照度										
3.4 照明制御										
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策										
1	化学汚染物質			5.0	0.60	5.0	0.63			
4.2 換気										
1	換気量			1.0	0.50	1.0	0.33			
2	自然換気性能				-	3.0	0.33			
3	取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理										
1	CO <sub>2</sub> の監視				-		-			
2	喫煙の制御				-		-			

Q2 サービス性能								
								2.3
1 機能性								2.1
1.1 機能性・使いやすさ								
	1 広さ・収納性							
	2 高度情報通信設備対応							
	3 バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
	1 広さ感・景観 (天井高)							
	2 リフレッシュスペース							
	3 内装計画							
1.3 維持管理								
	1 維持管理に配慮した設計							
	2 維持管理用機能の確保							
2 耐用性・信頼性								2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振								
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)							
	2 免震・制震・制振性能							
2.2 部品・部材の耐用年数								
	1 躯体材料の耐用年数							
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源						
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源						
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源						
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源						
	6 主要設備機器の更新必要間隔	省資源						
2.4 信頼性								
	1 空調・換気設備							
	2 給排水・衛生設備							
	3 電気設備							
	4 機械・配管支持方法							
	5 通信・情報設備							

3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.2	1.00	2.2
3.1 空間のゆとり				-	-	1.4	0.50	
1	階高のゆとり			-	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性			2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		躯体への隠蔽配管無し	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出		緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	二重サッシ、ペアガラス、断熱材の強化による熱損失係数の低減。	1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用		省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネ	[BEI][BEIm] = 1.11	1.9	0.50	-	-	1.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減	省資源		2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		1.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.22	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				2.9	0.20		-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を極力含まない建築材料を選択	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		2.0	1.00		-	
3	冷媒	省資源		-	-		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		省資源	CO2排出の低減を目標	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮				1.9	0.33		-	1.9
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理		1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理		2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音			3.0	0.33		-	
2	振動			3.0	0.33		-	
3	悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40		-	
1	風害の抑制			1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			0.5	-		-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策			3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.0)

1 建物概要				BEE	0.6	BEEランク	B <sup>-</sup>
建物名称	ウイングパーク						
建物用途	集合住宅						
延床面積	2,608.6	㎡					

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア20%以下                  ★2=スコア20%~40%以下                  ★3=スコア40%~60%以下                  ★4=スコア60%~80%以下                  ★5=スコア80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
<b>A 省エネルギー</b>				<b>合計</b>	<b>9.2点 / 23.5点</b>		
Q1 温熱環境	スコア	0.3 / 1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.8 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア	0.7 / 2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0		
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	3.8 / 10.0		
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 / 4.0		
<b>B 省資源等</b>				<b>合計</b>	<b>12.5点 / 23.7点</b>		
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.5 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.8 / 2.1		
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	5.0 / 5.0		
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.4 / 4.2		
<b>C 緑化</b>				<b>合計</b>	<b>5.5点 / 15.3点</b>		
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.6 / 6.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5 / 2.3					
<b>D 雪処理</b>				<b>合計</b>	<b>2.0点 / 3.0点</b>		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと